

# 青少年・若者の社会意識及び活動に関する調査

## 【概要版】

令和元年12月 茨城県

本調査は、家庭、学校、地域などの各領域における青少年の意識や活動の実態と、青少年の保護者の子育てに関する意識を明らかにし、親子関係の特徴や問題状況等を的確に把握するために実施した。

調査対象	調査方法		配布数 (票)	回収数 (票)	回収率 (%)
小学生 (5・6年生)	母集団 50,000 人に対し約 600 サンプル (300/学年) を抽出	地域バランスを考慮して、小学校 10 校、中学校 10 校、高校 9 校を抽出後、対象校で各学年任意の 1 クラスを抽出して全員に実施。各学校を通じて調査票を配布・回収	650	635	97.7
中学生 (全学年)	母集団 77,000 人に対し約 900 サンプル (300/学年) を抽出		974	939	96.4
高校生 (全学年)	母集団 77,000 人に対し約 900 サンプル (300/学年) を抽出		996	949	95.3
若者 (18 歳～概ね 30 歳)	公益社団法人茨城県青少年育成協会の賛助会員 (230 法人) を通じて該当年齢の対象者へ調査票 (493 部) を配布。郵送回収。		493	357	72.0
小学 5 年生～ 高校 3 年生の 保護者	上記対象の学校の児童・生徒 (小学生～高校生) を通じて各保護者へ調査票を配布・回収 (各家庭に持ち帰り保護者が記入)。		2,602	2,326	89.4

### 調査項目

家庭・学校・地域における活動状況、社会環境への対応状況、意識・価値観  
(小学生 25 問、中学生 28 問、高校生 32 問、若者 25 問、保護者 20 問)

### 調査時期

令和元年 8 月～9 月

### 本書を読む際の留意点

- ・ 単純集計グラフ中の「N=〇〇」はサンプル数を表す。グラフ内数値や表の単位は、特に断りのない限り「%」である。
- ・ 単数回答の単純集計結果を表す本文グラフの中で、百分率の内訳数値は、四捨五入の結果、合計が 100.0 にならない場合もある。
- ・ 回答数の制限を超えて回答している場合 (1 つのみの選択で 2 つ印がついている等)、すべての回答について有効とした。そのため、回答数が回答者数を超えている場合がある。

# 調査結果に見る，青少年の現状を表すトピックス

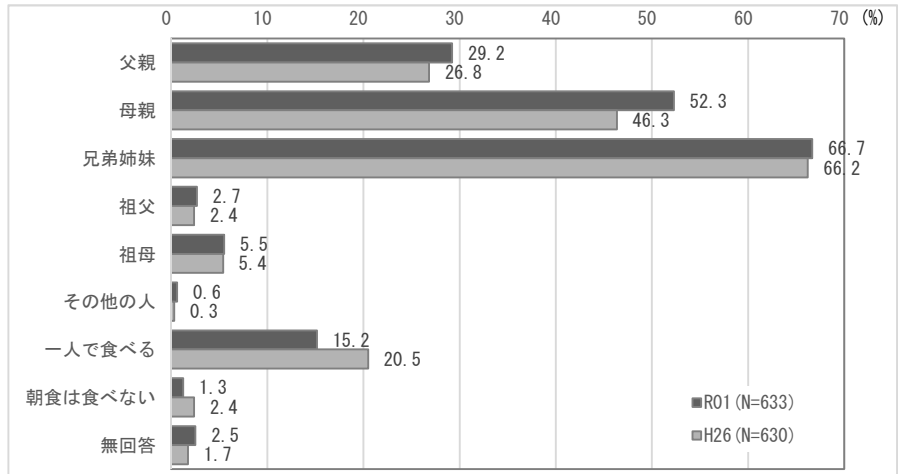
トピックス項目	概要																																																											
<p style="text-align: center;"><b>&lt; TOPIC 1 &gt;</b></p> <p style="text-align: center;">基本的な生活習慣 であるあいさつの 家庭内での実態</p>	<p>○ 平成 26 年度と比較すると、「ありがとう」「ごめんなさい」を言える小学生が増加している。</p> <p>■ 図 あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」を言う小学生の割合と経年比較</p> <table border="1"> <caption>あいさつや「ありがとう」「ごめんなさい」を言う小学生の割合と経年比較</caption> <thead> <tr> <th>挨拶の種類</th> <th>年次</th> <th>いつも言う (%)</th> <th>ときどき言う (%)</th> <th>あまり言わない (%)</th> <th>まったく言わない (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">おはよう</td> <td>R1 (N=634)</td> <td>70.0</td> <td>17.7</td> <td>7.3</td> <td>3.8</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=630)</td> <td>69.8</td> <td>17.8</td> <td>7.6</td> <td>3.5</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">おやすみなさい</td> <td>R1 (N=633)</td> <td>78.7</td> <td>12.5</td> <td>5.3</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=632)</td> <td>79.4</td> <td>11.4</td> <td>5.2</td> <td>2.5</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ありがとう</td> <td>R1 (N=633)</td> <td>61.5</td> <td>26.9</td> <td>8.7</td> <td>1.7</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=630)</td> <td>51.3</td> <td>37.1</td> <td>8.7</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ごめんなさい</td> <td>R1 (N=633)</td> <td>46.4</td> <td>29.4</td> <td>17.9</td> <td>4.7</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=630)</td> <td>34.4</td> <td>39.0</td> <td>21.1</td> <td>4.1</td> <td>1.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>■いつも言う ■ときどき言う □あまり言わない □まったく言わない ■無回答</p>	挨拶の種類	年次	いつも言う (%)	ときどき言う (%)	あまり言わない (%)	まったく言わない (%)	無回答 (%)	おはよう	R1 (N=634)	70.0	17.7	7.3	3.8	1.3	H26 (N=630)	69.8	17.8	7.6	3.5	1.3	おやすみなさい	R1 (N=633)	78.7	12.5	5.3	3.0	0.8	H26 (N=632)	79.4	11.4	5.2	2.5	1.4	ありがとう	R1 (N=633)	61.5	26.9	8.7	1.7	1.3	H26 (N=630)	51.3	37.1	8.7	1.6	1.3	ごめんなさい	R1 (N=633)	46.4	29.4	17.9	4.7	1.6	H26 (N=630)	34.4	39.0	21.1	4.1	1.3
挨拶の種類	年次	いつも言う (%)	ときどき言う (%)	あまり言わない (%)	まったく言わない (%)	無回答 (%)																																																						
おはよう	R1 (N=634)	70.0	17.7	7.3	3.8	1.3																																																						
	H26 (N=630)	69.8	17.8	7.6	3.5	1.3																																																						
おやすみなさい	R1 (N=633)	78.7	12.5	5.3	3.0	0.8																																																						
	H26 (N=632)	79.4	11.4	5.2	2.5	1.4																																																						
ありがとう	R1 (N=633)	61.5	26.9	8.7	1.7	1.3																																																						
	H26 (N=630)	51.3	37.1	8.7	1.6	1.3																																																						
ごめんなさい	R1 (N=633)	46.4	29.4	17.9	4.7	1.6																																																						
	H26 (N=630)	34.4	39.0	21.1	4.1	1.3																																																						
<p style="text-align: center;"><b>&lt; TOPIC 2 &gt;</b></p> <p style="text-align: center;">家庭生活における 満足度 (プラン指標項目)</p>	<p>○ 平成 26 年度と比較すると，全ての学校段階で家庭生活にとっても満足している子どもが増加している。</p> <p>■ 図 小学生の家庭生活満足度の経年比較</p> <table border="1"> <caption>小学生の家庭生活満足度の経年比較</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>とても満足 (%)</th> <th>満足 (%)</th> <th>あまり満足していない (%)</th> <th>満足していない (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1 (N=635)</td> <td>60.3</td> <td>29.4</td> <td>5.4</td> <td>2.5</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=633)</td> <td>55.8</td> <td>35.2</td> <td>5.8</td> <td>1.3</td> <td>1.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>■とても満足 ■満足 □あまり満足していない □満足していない ■無回答</p> <p>■ 図 中学生の家庭生活満足度の経年比較</p> <table border="1"> <caption>中学生の家庭生活満足度の経年比較</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>とても満足 (%)</th> <th>満足 (%)</th> <th>あまり満足していない (%)</th> <th>満足していない (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1 (N=945)</td> <td>48.4</td> <td>39.3</td> <td>8.5</td> <td>1.8</td> <td>2.1</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=1016)</td> <td>38.6</td> <td>47.2</td> <td>10.6</td> <td>3.1</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>■とても満足 ■満足 □あまり満足していない □満足していない ■無回答</p> <p>■ 図 高校生の家庭生活満足度の経年比較</p> <table border="1"> <caption>高校生の家庭生活満足度の経年比較</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>とても満足 (%)</th> <th>満足 (%)</th> <th>あまり満足していない (%)</th> <th>満足していない (%)</th> <th>無回答 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1 (N=945)</td> <td>34.7</td> <td>49.6</td> <td>10.5</td> <td>4.1</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>H26 (N=1018)</td> <td>28.8</td> <td>52.3</td> <td>14.0</td> <td>4.0</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>■とても満足 ■満足 □あまり満足していない □満足していない ■無回答</p>	年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)	R1 (N=635)	60.3	29.4	5.4	2.5	2.4	H26 (N=633)	55.8	35.2	5.8	1.3	1.9	年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)	R1 (N=945)	48.4	39.3	8.5	1.8	2.1	H26 (N=1016)	38.6	47.2	10.6	3.1	0.4	年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)	R1 (N=945)	34.7	49.6	10.5	4.1	1.1	H26 (N=1018)	28.8	52.3	14.0	4.0	0.9					
年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)																																																							
R1 (N=635)	60.3	29.4	5.4	2.5	2.4																																																							
H26 (N=633)	55.8	35.2	5.8	1.3	1.9																																																							
年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)																																																							
R1 (N=945)	48.4	39.3	8.5	1.8	2.1																																																							
H26 (N=1016)	38.6	47.2	10.6	3.1	0.4																																																							
年次	とても満足 (%)	満足 (%)	あまり満足していない (%)	満足していない (%)	無回答 (%)																																																							
R1 (N=945)	34.7	49.6	10.5	4.1	1.1																																																							
H26 (N=1018)	28.8	52.3	14.0	4.0	0.9																																																							

トピックス項目

概 要

- 小・中学生は平日の朝食を兄弟姉妹と一緒に食べる割合が高い。
- 中学生の3割は平日の朝食を一人で食べている。
- 平成26年度と比較すると、小学生・中学生ともに朝食を一人で食べる割合が減少している。
- 高校生の朝食を食べる割合は、わずかに低下している。

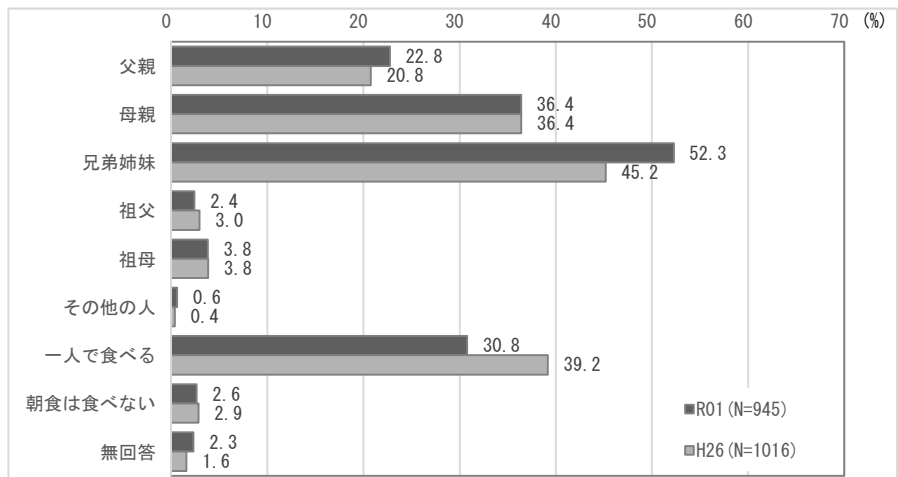
■図 小学生の、平日と一緒に朝食を食べる相手の経年比較



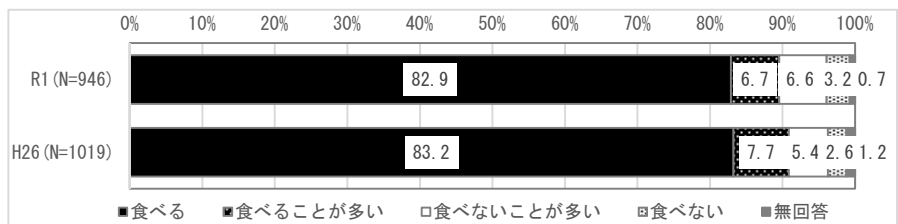
< TOPIC 3 >

朝食摂取率の実態  
と孤食についての  
調査

■図 中学生の、平日と一緒に朝食を食べる相手の経年比較



■図 高校生の、平日朝食を食べる割合の経年比較



< TOPIC 4 >

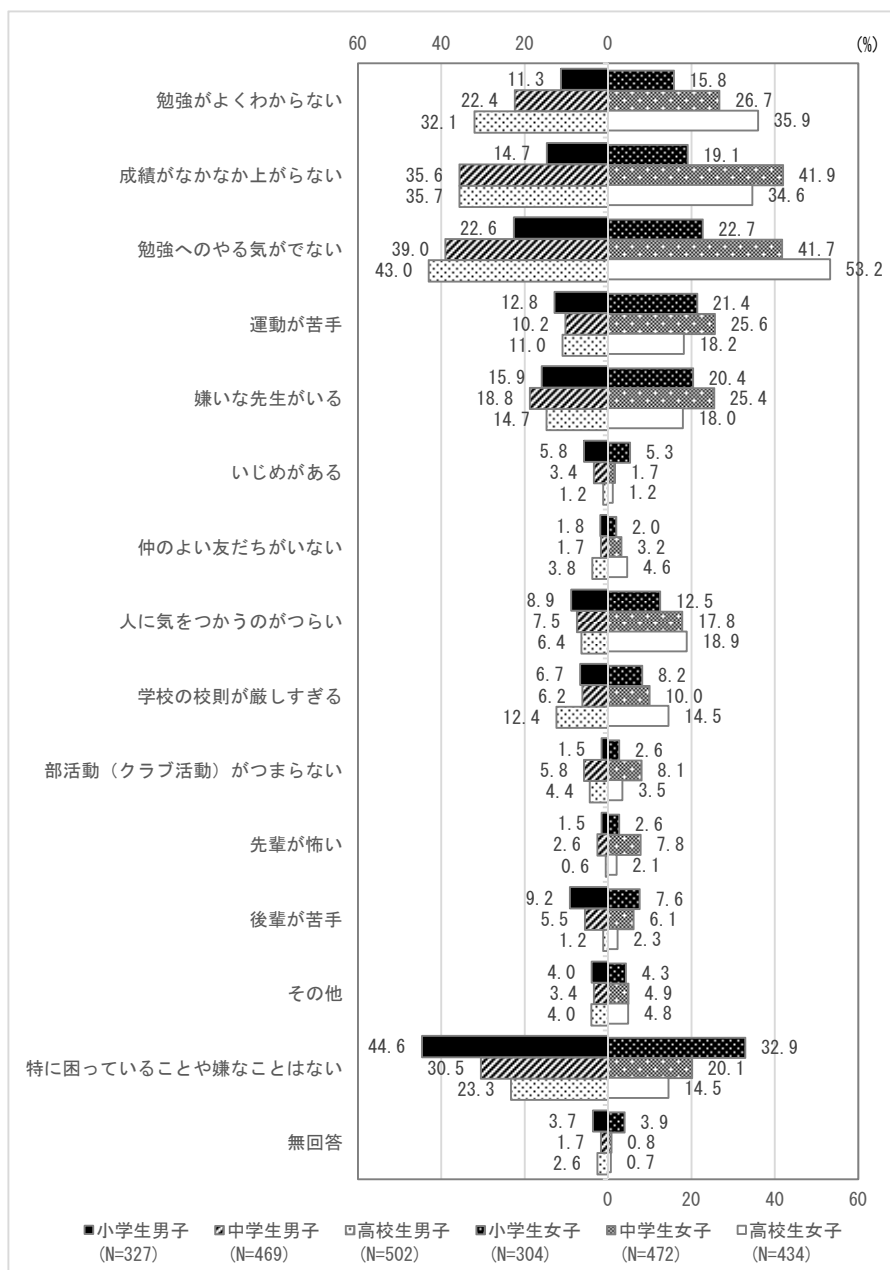
学校生活で困難を感じている内容の把握

トピックス項目

概要

- 全ての学校段階で勉強に関する悩みが高く、学校段階の進行に従い勉強に関して悩む割合も上昇している。
- 男女で比較するとほとんどの項目において、女子の方が悩みを抱えている割合が高い。

■図 学校生活で悩んでいること



トピックス項目

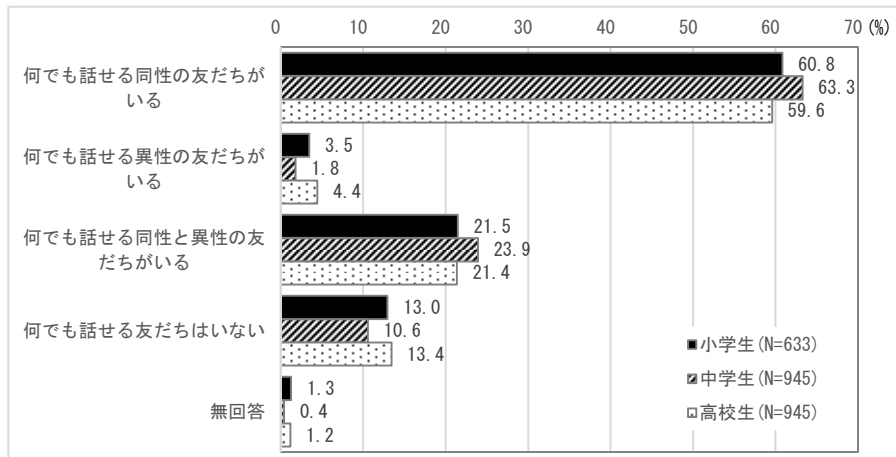
概 要

< TOPIC 5 >

何でも話せる友人  
がいるかどうかの  
把握

- 全ての学校段階で約6割は何でも話せる同性の友だちがいる。
- 全ての学校段階で約1割の子どもは何でも話せる友だちがいない。

■図 何でも話せる友人の存在

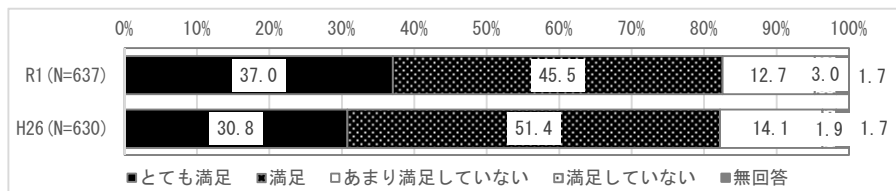


< TOPIC 6 >

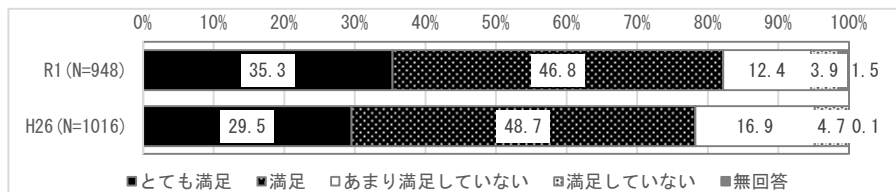
学校生活における  
満足度

- 全ての学校段階で学校生活にはおおよそ8割の子どもが満足している。
- 平成26年度と比較すると、全ての学校段階で学校生活にとても満足している割合が上昇している。

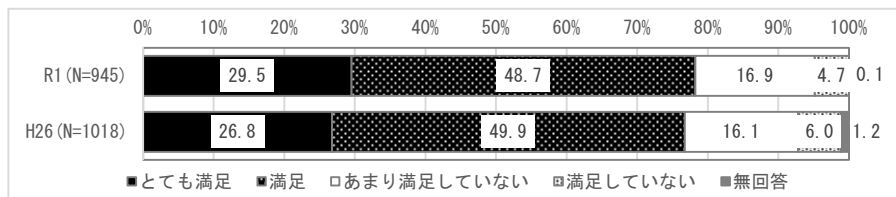
■図 小学生の学校生活満足度の経年比較



■図 中学生の学校生活満足度の経年比較



■図 高校生の学校生活満足度の経年比較



トピックス項目

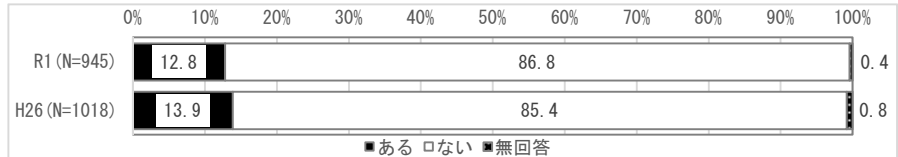
概要

< TOPIC 7 >

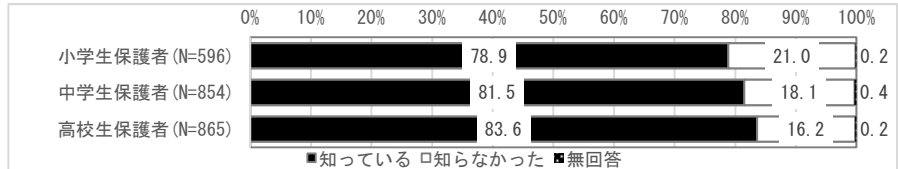
深夜外出する割合  
と条例の認知度の  
把握  
(プラン指標項目)

- 平成 26 年度と比較すると、高校生の深夜外出が減少している。
- 保護者の深夜外出を禁じる条例の認知度は 8 割程度。
- ※ 茨城県青少年の健全育成等に関する条例では、保護者は青少年を深夜（午後 11 時から翌日の午前 4 時まで）に外出させないように努めなければなりません。

■ 図 深夜外出をする高校生の有無の経年比較



■ 図 子どもの深夜外出を禁じる条例の保護者認知度

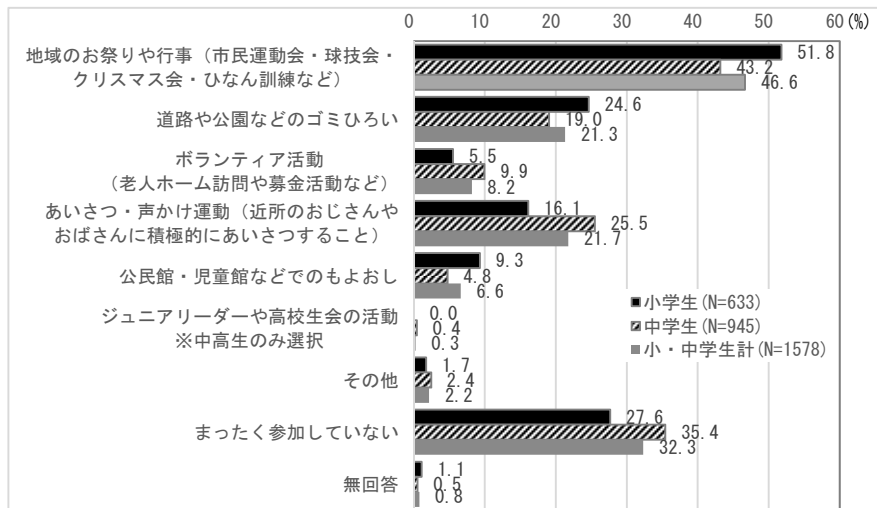


< TOPIC 8 >

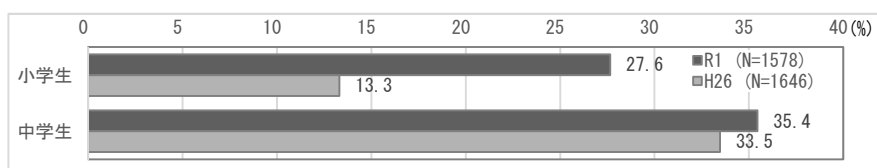
地域活動への関心  
度の把握 (小・中学生)  
(プラン指標項目)

- 学校以外の地域活動に参加している子どもは、地域のお祭りや行事に参加している割合が高い。
- 平成 26 年度と比較すると、全く参加していない小・中学生が増加している。

■ 図 学校の行事以外で参加した地域活動 (小・中学生)



■ 図 まったく参加していない小中学生の経年比較



トピックス項目

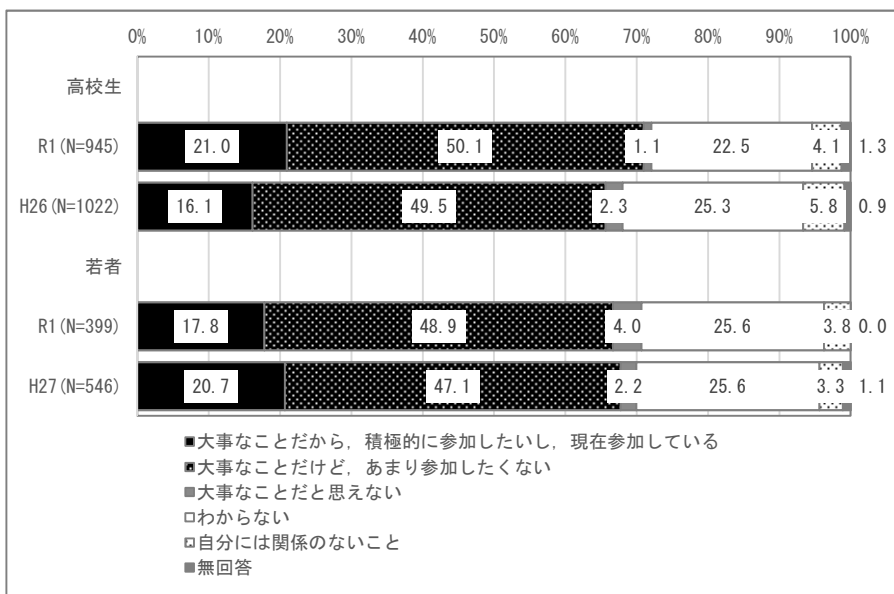
概要

< TOPIC 9 >

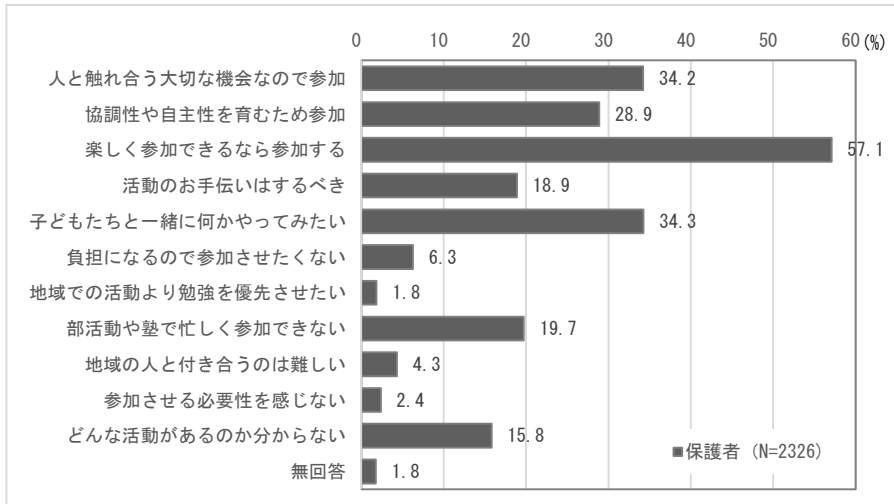
地域活動への関心の把握（高校生・若者）

- 高校生と 18 歳以上の若者の 7 割ほどが地域活動を大事だと思っている。
- 高校生，若者ともに現在地域活動へ参加している割合は 2 割程度
- 保護者は，子どもの地域活動への参加に対して肯定的な割合が高く，「楽しく参加できるなら参加する」と考えている割合が最も高い。

■ 図 高校生・若者の地域活動への関心の経年比較



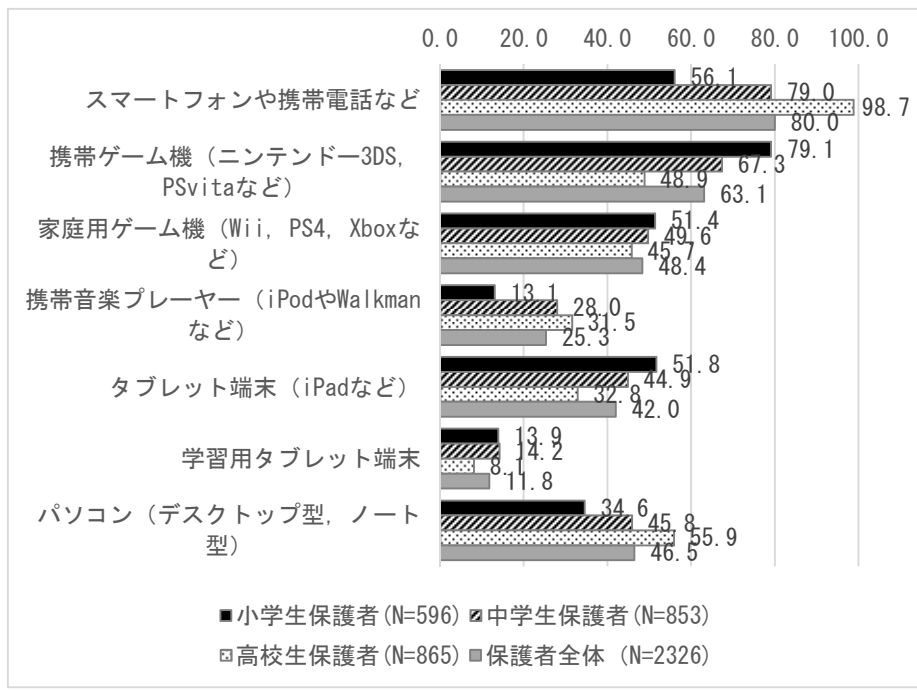
■ 図 保護者の、青少年のための地域での活動についての考え



トピックス項目	概要
---------	----

- インターネットへの接続機器は、小学生では「携帯ゲーム機」から、中・高校生では「スマートフォンや携帯電話など」からの接続が多い。
- 学校段階の進行に従い、フィルタリング設定率が低くなっている。

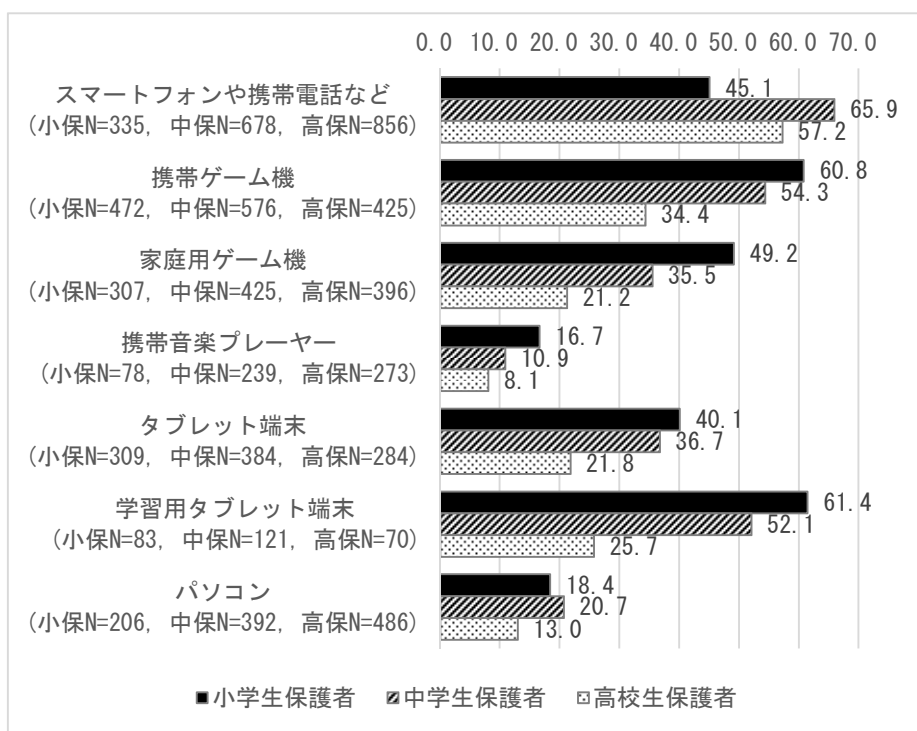
■図 子どもが利用しているインターネット接続機器（保護者調査）



<TOPIC10>

利用機器のフィルタリングの設定状況

■図 小・中・高校生のフィルタリング導入率（保護者調査）





<TOPIC11>

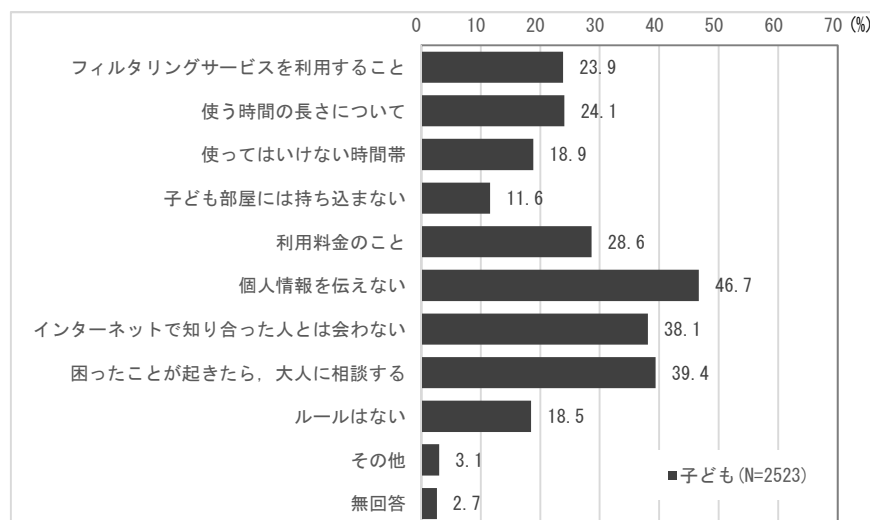
インターネット  
使用に関する家  
族内でのルール

トピックス項目

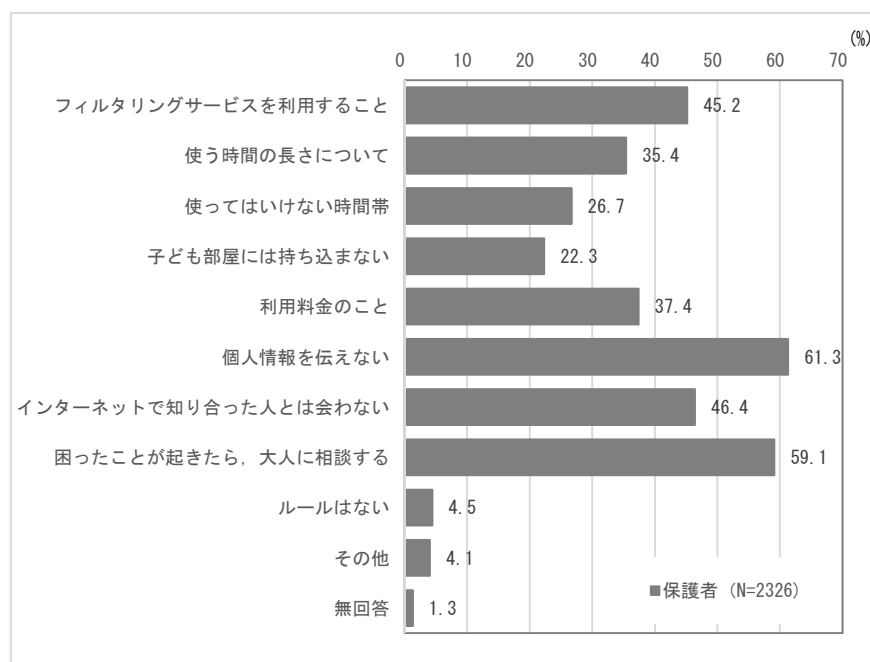
概要

- 保護者は子どものインターネットの利用に対し、料金やフィルタリングサービスの利用などのルールを決めていると考えているが、子どもたちは自分の自由に使っていると考えている割合が高い。

■図 子どものインターネット使用に関するルール



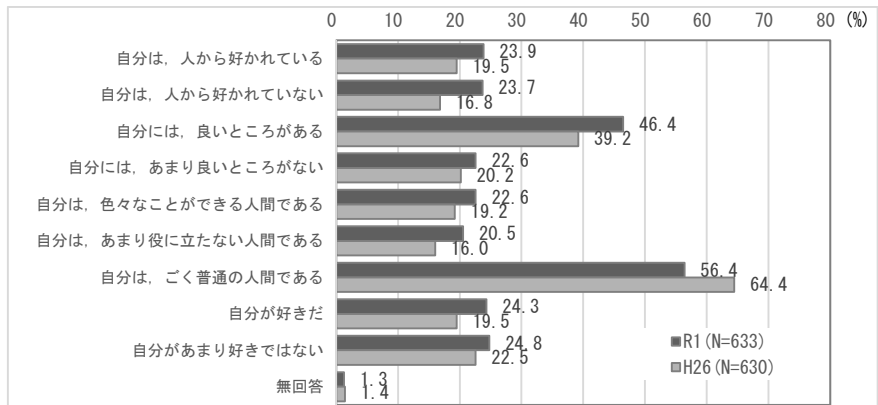
■図 保護者のインターネット使用に関するルール



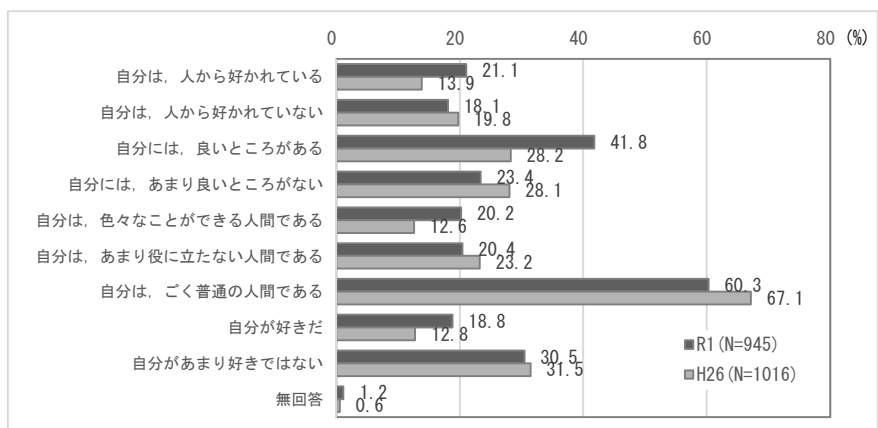
トピックス項目	概要
---------	----

- 自分自身をどのように感じているかについては、「自分はごく普通の人間」とする割合が高い。
- 平成 26 年度と比較すると、全ての学校段階で自己を肯定的に捉えている割合が上昇している。

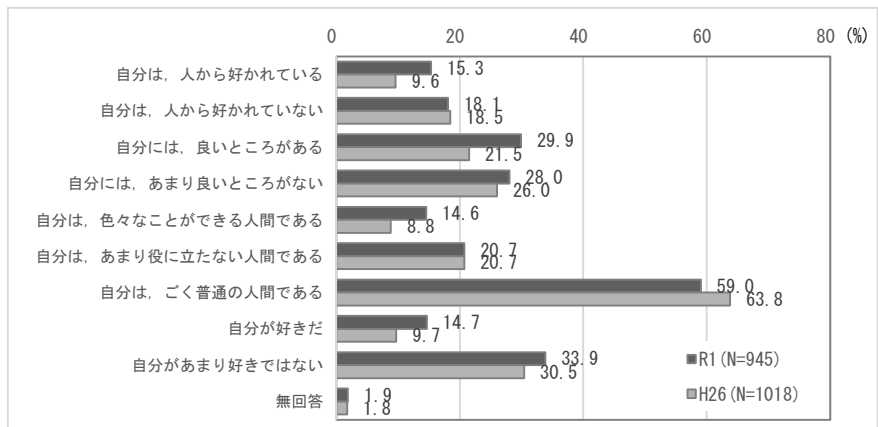
■図 小学生が自分をどのように感じているかの経年比較



■図 中学生が自分をどのように感じているかの経年比較



■図 高校生が自分をどのように感じているかの経年比較



< TOPIC12 >

青少年の自己肯定感・自尊感情の把握  
(プラン指標項目)

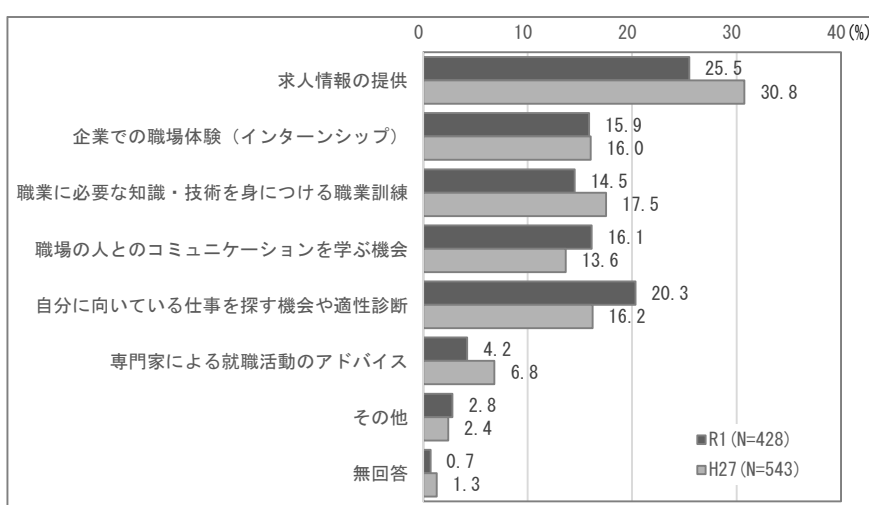
トピックス項目
<p style="text-align: center;"><b>&lt; TOPIC13 &gt;</b></p> <p style="text-align: center;"><b>男女不平等に関する調査</b></p>

概要																																			
<p>○ 高校生の約6割は男女が平等でないと感じており、特に家事や職場待遇、社会の慣習が平等ではないと考えている。</p> <p>■ 図 男女平等でないと感じることがある高校生</p> <table border="1"> <caption>男女平等でないと感じることがある高校生</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ある</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>ない</td> <td>35.4</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 図 男女平等でないと感じること</p> <table border="1"> <caption>男女平等でないと感じること (%)</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>男 (N=321)</th> <th>女 (N=274)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家事（育児、介護、看護等を含む）</td> <td>34.3</td> <td>50.4</td> </tr> <tr> <td>職場での待遇（賃金、職種、昇任、転勤、育児休暇等）</td> <td>43.6</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>部活動や生徒会活動など、学校での役割分担</td> <td>25.2</td> <td>12.8</td> </tr> <tr> <td>町内会・自治会などの地域活動での役割分担</td> <td>6.2</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>家族など身近な人の言動</td> <td>17.4</td> <td>23.0</td> </tr> <tr> <td>社会一般の慣習・慣行など</td> <td>44.2</td> <td>38.0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>1.9</td> <td>1.1</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合 (%)	ある	63.4	ない	35.4	無回答	1.2	項目	男 (N=321)	女 (N=274)	家事（育児、介護、看護等を含む）	34.3	50.4	職場での待遇（賃金、職種、昇任、転勤、育児休暇等）	43.6	49.6	部活動や生徒会活動など、学校での役割分担	25.2	12.8	町内会・自治会などの地域活動での役割分担	6.2	2.2	家族など身近な人の言動	17.4	23.0	社会一般の慣習・慣行など	44.2	38.0	その他	9.0	4.0	無回答	1.9	1.1
回答	割合 (%)																																		
ある	63.4																																		
ない	35.4																																		
無回答	1.2																																		
項目	男 (N=321)	女 (N=274)																																	
家事（育児、介護、看護等を含む）	34.3	50.4																																	
職場での待遇（賃金、職種、昇任、転勤、育児休暇等）	43.6	49.6																																	
部活動や生徒会活動など、学校での役割分担	25.2	12.8																																	
町内会・自治会などの地域活動での役割分担	6.2	2.2																																	
家族など身近な人の言動	17.4	23.0																																	
社会一般の慣習・慣行など	44.2	38.0																																	
その他	9.0	4.0																																	
無回答	1.9	1.1																																	

トピックス項目	概 要
---------	-----

- 就職支援として「求人情報の提供」が最も求められている。次いで「自分に向いている仕事を探す機会や適正診断」,「職場の人とのコミュニケーションを学ぶ機会」となっている。
- 就職支援について平成 27 年度と比較すると,「求人情報の提供」や「職業訓練」を求める割合が低下し,「職場の人とのコミュニケーションを学ぶ機会」や「自分に向いている仕事を探す機会や適正診断」の割合が上昇している。
- 就職に関する考え方について,平成 27 年度と比較すると,仕事より自身や家庭を大切にする傾向が見られる。

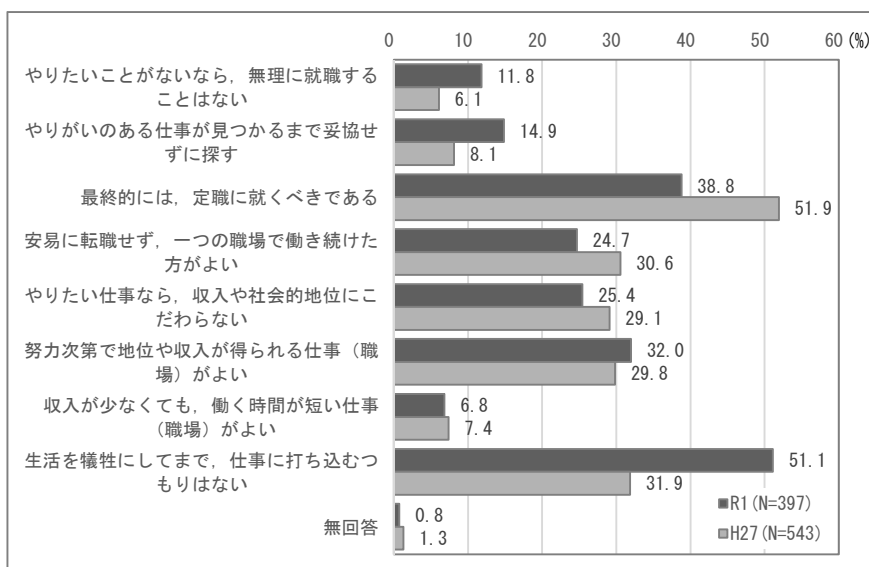
■図 若者の就職支援として最も重要な内容の経年比較



< TOPIC14 >

就職支援において重要視する内容の把握

■図 若者の就職に関する考え方の経年比較



< TOPIC15 >

現代社会に見られる  
子どもの風潮について、保護者がどう思う  
かの把握

トピックス項目

概要

- 平成 26 年度と比較すると、家族や家の人から離れることや髪の毛を染めることなど複数の項目で肯定的な回答をする割合が上昇している。
- 気に入らない友だちをいじめたり仲間外れにすることやインターネットで知り合った人と二人きりで会うことは否定的な意見が大勢を占めており、目立った変化も見られない。

■図 子どもの行動についてどう思うかの経年比較

